

## 3. 作業の準備

### 3-1. 運転前点検

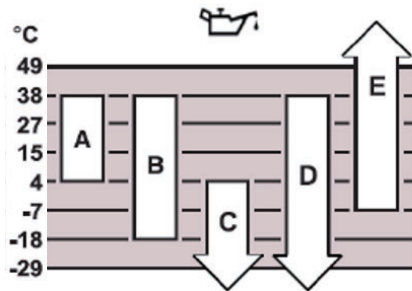


#### 警告

○ 安全作業のため、27 ページ以降記載の日常点検作業表を参照して、運転前に点検をしてください。

○ 異常があるときは整備をしてください。自分でできない場合は、販売店に依頼してください。

整備不良のまま使用すると事故や重傷を負う原因となります。



#### 推奨オイル

|   |                                                                     |
|---|---------------------------------------------------------------------|
| A | SAE30・・・4℃以下で SAE30 を使用すると、始動不良が生じることがあります。                         |
| B | 10W-30・・・27℃以上で 10W-30 を使用すると、オイル消費量が増加することがあります。オイル量をこまめに確認してください。 |
| C | 5W-30                                                               |
| D | 化学合成オイル 5W-30                                                       |
| E | Vanguard® 化学合成オイル 15W-50                                            |

#### エンジンオイルの点検、補給

オイルの汚れを点検し、汚れがひどい場合には交換してください。(交換は 29 ページの「エンジンオイルの交換」を参照)

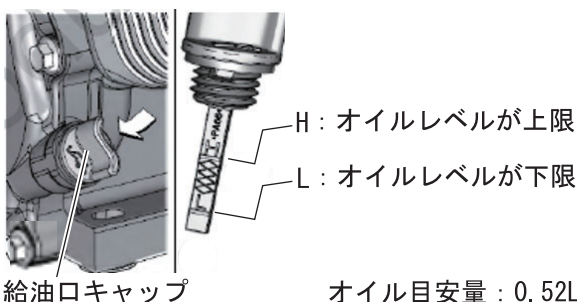
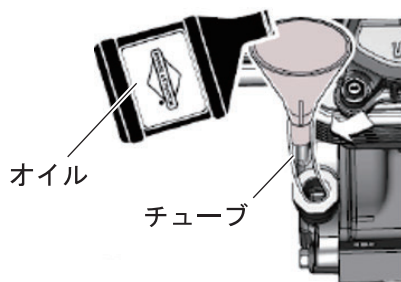
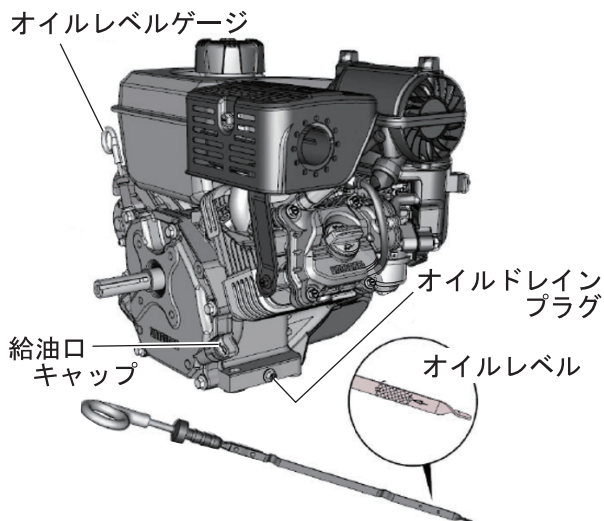
#### 重要

- 初めてエンジンをかける場合は、オイルレベルを確認してください。
- エンジンの取扱説明書に従いオイルを補給・交換してから、運転をはじめてください。

オイルが入っていない状態でエンジンを始動させると修理不可能な損傷を引き起こし、保障の対象外となります。

#### 注意

- 正規面より多く入れるとオイルが吹き出ることがあります。



1. 製品を水平な場所においてください。
2. 給油口キャップを外してください。
3. オイルレベルゲージを外し、きれいに拭いてください。
4. オイルレベルゲージの差し込み、引き出しはゆっくり行ってください。
5. エンジンの取扱説明書を参照し、必要に応じてクランクケースにオイルを規定レベル内まで補給してください。
6. 給油口キャップをしっかり締めますが、締めすぎないように注意してください。
7. エンジンをかけ、1 分間動かしてください。エンジンが動いてる間に、オイルの漏れがないか点検してください。

## 3. 作業の準備

### 3-2. 燃料の準備

#### ⚠ 危険

- 給油する際は、車体を平坦な場所に駐車してください。
- エンジンは必ず停止して、本機の電源を切り、エンジンが冷えた状態で行ってください。
- 燃料を補給中にタバコを吸ったり、火気を近づけたりしないでください。

燃料に引火して火災を起こしたり、火傷を負ったりすることになります。



#### ⚠ 警告

- ポンプで燃料容器に燃料を移すときは、容器を地面に置いてください。

静電気が燃料に放電して、火災の原因となります。

- 給油限界位置を越えて補給しないでください。
- 燃料をこぼさないように注意して、こぼれたら拭き取ってください。
- 燃料タンクや燃料ホースから燃料の漏れやにじみがある場合は直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- 補給後は、燃料タンクキャップをしっかり締めてください。
- 燃料を洗剤として使用しないでください。
- 燃料は換気のよい場所で保管してください。

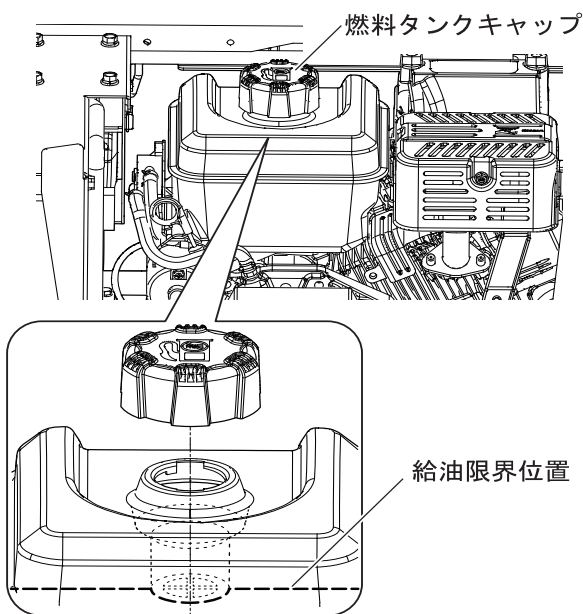
燃料に引火して火災や火傷の原因となります。

#### 重要

- この製品に使用する燃料はガソリンです。燃料タンクにはガソリンのみを入れてください。

#### 燃料の給油

- ◆ 燃料タンクキャップを外して給油限界位置を越えないことを確認しながら補給してください。補給後は、燃料タンクキャップをしっかり締めてください。
- ◆ ガソリンの中に水分やゴミが入っていると、エンジン不調の原因となるので、きれいなガソリンを使用してください。ガソリンをドラム缶で購入される場合は、きれいなガソリンが燃料タンクに入るようにしてください。



## 3. 作業の準備

### 3-3. 送信機 (プロポ) の準備



#### ○プロポの充電

1. プロポの電源を切ってください。
2. プロポの充電器を家庭用 AC100 V コンセントに接続してください。
3. プロポの底面にある突起を充電器の溝に合わせて置いてください。
4. 充電が開始すると「ピー」と音が鳴り、プロポの充電ランプが赤点滅します。
5. 充電が終わると充電ランプが緑点滅に変わりますので、プロポを充電器から取り外してください。

#### ⚠ 警告

#### ○ 充電するには、必ず指定するニッケル水素電池 ( 充電式 ) をご使用ください。

漏液・発熱・破裂し、事故や重傷を負う原因となります。

#### 重要

- 作業前に必ずプロポを充電してください。
- 電源を切らないと充電できません。

#### ○プロポ充電電池

メーカー：富士通 FUJITSU

名称：ニッケル水素電池 単 3 形 1.2 V  
min.1,900mah

型番：HR-3UTC (4B)

#### ○プロポの電池交換

1. プロポの電源を切ってください。
2. プロポ底面のねじ (4 箇所) を回して、ふたを外してください。
3. 単 3 形ニッケル水素電池 ( 充電式 ) を 4 本交換してください。
4. ふたを閉じてください。

プロポの電池は消耗品です。使用時間が著しく短くなった場合は交換してください。

不用になった電池は、一般のゴミと一緒に捨てず、それぞれの自治体の取決めに従ってください。または、お買い上げの販売店にご相談ください。

